



2019  
春季号

# ほっと石川

特集

ILAC開設から3年  
「いしかわ暮らし」の  
注目度がぐんぐん上昇中

いしかわ動物園  
希少な生き物を守ろう!

ILAC開設から3年  
「いしかわ暮らし」の  
注目度がぐんぐん上昇中... 2

いしかわ動物園  
希少な生き物を守ろう! ... 8

知事の窓 .....12

ほほえみ 石川のボランティア  
田鶴浜地区生活・  
介護支援サポーター会  
(七尾市) .....12

いしかわ・金沢  
風と緑の  
楽都音楽祭2019.....13

スポーツがさらに楽しくなるアプリ  
いしかわスポーツ  
マイレージ .....14

ご当地グルメ  
西能登おもてなし井  
(志賀町) .....15

Information  
「小松-香港」週2便で  
運航スタート! .....16

表紙について

■シリーズ  
ふるさと心の風景

俱利伽羅峠の八重桜  
(津幡町)

津幡町の俱利伽羅峠では、4月下旬から5月上旬にかけて桜まつりが開かれます。約6000本の八重桜が咲き誇る俱利伽羅公園一帯の桜並木は見応え十分。桜まつり期間中は、夜になるとちょうちんに明かりがともり、昼間とは違った美しさも演出しています。ぜひ、桜舞う春の散策をゆったりとお楽しみください。また、その際は14ページで紹介する「いしかわスポーツマイレージ」のダウンロードもお忘れなく。歩数に応じてポイントがたまって一石二鳥ですよ。さらに、二鳥といえは8ページからは、いしかわ動物園で飼育・繁殖に力を注ぐトキとライチョウを紹介しています。今号もほっと石川は内容満載です。

表紙イラスト制作 / 吉野 武 (金沢市在住)

**相談件数は約5倍、  
移住者は約12倍に**

ILACは現在までに合計900人以上の移住をサポートしてきました。ILAC開設以来、年々増加し、2017年度は相談件数2873件、移住者数359人で、東京・銀座のアンテナショップに移住相談窓口を置いていた15年度に對して相談件数は約5倍、移住者数は約12倍になっています。これほどの大きな効果を発揮するILACは、移住はもちろん、就職もまとめて対応できるワンストップのサポート窓口です。窓口で移住希望者の相談業務を行う「移住支援員」と、県内企業を回り求人を開拓する「人材コーディネーター」が連携し、相談者の希望や経

歴、企業の社風や強みも踏まえ、転職をサポートしています。暮らしについても、市町と連携して生活環境の情報を提供するなど、きめ細かな支援に努めています。

**東京で大相談会  
大阪にもILAC誕生**

JR東京駅から徒歩1分にあるILAC東京が果たす役割も大きく、これまで仲介した方の約6割が首都圏からの移住となっています。さらに2019年度は、ILACを中心に、市町、いしかわ結婚・子育て支援財団など移住に関する関係機関を一堂に集め、暮らしや就職などあらゆる相談にワンストップで対応できる大相談会を東京で開催します。

東京から石川に移り住んだ新道さんご家族。詳細は6ページ



# ILAC開設から3年 「いしかわ暮らし」の 注目度がぐんぐん上昇中

地域の活力を生み出すには、住民の力が欠かせません。県では、人口減少のスピードを抑え、ふるさとの元気につなげようと、県外から人を呼び込む移住の取り組みに力を入れています。その中心的な役割を果たすのが、2016年に金沢市と東京に設置した「いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)」です。ILAC開設から3年、県内への移住者が大幅に増加するなど、目に見える効果が現れています。

▶ INTERVIEW ◀

**移住はあせらず。一人ひとりに寄り添います**

移住は、人生においてとても大きな決断です。急いだり、あせったりすることなく、ご家族とも十分に相談した上で判断することが大切です。もちろん、私たちILACも一人ひとりに寄り添ったサポートに努めています。例えば、UIターンサポート石川は、私も含めスタッフはみなUIターンをしていて、県内市町と連携した情報提供やオーダーメイドでの移住体験ツアーなどを実施しています。お気軽にご相談いただければと思います。



ILAC UIターンサポート石川  
定住・就職マッチング支援員リーダー  
角谷 淳子さん

メールや電話でも気軽に相談できます!

**いしかわ就職・定住  
総合サポートセンター (ILAC)**

金沢市石引4-17-1 本多の森庁舎1階  
開館日: 月~土曜 9:00~18:00  
※年末年始・祝日を除く  
TEL.076 (235) 4540  
メール: support@ishikawa-note.jp

**家族や知人を紹介する  
キャンペーンを実施中**

また、県内への移住の内訳を見ると、約8割が石川県の出身者や、進学・転勤で石川県に住んだ経験のある方など石川ゆかりの方となっています。

この点に着目し、県民の皆さんに、県外で暮らす家族や知人にILACを紹介してもらおう「ILAC紹介キャンペーン」を昨年から実施しています。紹介していただいた方には抽選で100人、紹介を受け、実際にILACに移住相談された方には先着300人に、石川県の特産品などを贈呈します。2年目となる今年は、企業を通して従業員にキャンペーンを周知いただき、さらに多くの方々を紹介いただけるよう取

り組みを強化する予定です。皆さんもぜひ口コミで、ILACの存在をどんどん広めてください。

ILACでは、ワンストップできめ細かな対応に取り組んでいます

昨年12月、県大阪事務所内にILAC大阪を開設



## 石川の魅力 ATTRACTION of ISHIKAWA

### その1 全国トップクラスの暮らしやすさ

住まいは広く、暮らしの幸福度も高い!

- ・幸福度ランキング……………**全国3位**  
※法政大学大学院幸福度指数研究会調べ(2011年)
- ・住宅の広さ(居住面積)……………**全国3位**  
(石川県29.6㎡ 全国平均24.7㎡) ※総務省「2013年住宅・土地統計調査」

### その2 充実した子育て環境

子育て環境が整い、女性も安心して働けます。

- ・女性の就業率……………**全国2位**  
(石川県51.8% 全国平均48.3%)  
※総務省「2015年国勢調査」
- ・安心の子育て環境……………**待機児童ゼロ**

### その3 質の高い教育

多くの大学が集まる「学都石川」。小・中学生の学力もトップクラスです。

- ・人口あたりの高等教育機関数……………**全国2位**  
(石川県1.74校 全国平均0.92校)
- ・人口あたりの学生数……………**全国3位**  
(石川県29.7人 全国平均24.4人)  
※文部科学省学校基本調査(2018年5月)

### その4 世界に誇る食・自然・文化

豊かな自然に培われた四季折々の食材と伝統に育まれた食文化、文化・芸術活動も盛ん。

- ・人口あたりの美術館、博物館などの文化施設数……………**全国3位**
- ・人口あたりの人間国宝数……………**全国1位**

### その5 魅力的な企業・産業

グローバルなものづくり企業やニッチトップ企業など働きがいのある企業がたくさん。

- ・グローバルニッチトップ企業数……………**全国4位**  
※経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選(平成26年)」
- ・人口1000人あたりの事業所数……………**全国2位**  
※経済産業省「平成28年経済センサス」

## 多彩なセミナーやイベントを開催

ILACでは毎週のように移住イベントを開催しています。テーマは、暮らし、子育て、就職、農業、起業などさまざま。今年、「いしかわUIターン大相談会」の開催や関西地区での移住セミナーの充実を予定。イベントの情報は「いしかわノオト」で紹介しています。



## 石川での

# “住”人十色の暮らし方をサポート

細やかなサポートで安心



## 体験メニューも企画



県では、市町などと連携して、能登や加賀で暮らしや仕事をセットで体験できる「短期移住体験」、希望に応じて子育て環境を実際に体感できる「オーダーメイド型いしかわ子育て移住ツアー」、学生など若い方を対象に一定期間実際に働いて収入を得ながら地域の人たちと交流する「いしかわトライアルステイ」など、さまざまな体験メニューを企画。市町では、無料や低料金で暮らしを体験できる「お試し体験住宅」を設置しているところもあります。



## 気軽に相談できるILAC

ILACでは専任のスタッフが一人ひとりの立場や気持ちに寄り添い、相談に応じています。また、ポータルサイト「いしかわノオト」と「いしかわ暮らし情報ひろば」で、居住環境や移住者の声など多彩な情報を掲載しています。



[いしかわ暮らし情報ひろば]  
iju.ishikawa.jp



[いしかわノオト]  
ishikawa-note.jp



## 住まいの情報もたくさん

石川県の1人あたりの持ち家居住面積は全国3位で、広々とした住まいがたくさん。民間の不動産会社や、各市町が設けている空き家バンクなどには、住まいの情報が豊富に掲載されています。各市町では、住宅の取得や賃貸などに対する支援制度を設けているところもあります。



住宅の広さは全国トップクラス

## 仕事探しもしっかり支援

特定分野で全国トップのシェアを誇るニッチトップ企業など、県内には、さまざまな産業で魅力的な企業が活躍しています。ILACには、人材コーディネーターが県内企業を回って求人を開拓したり、若者の就職を応援するジョブカフェ石川があったりと、ハローワークや民間人材紹介会社などと連携し、希望する仕事とのマッチングを行っています。また、創業を支援する県産業創出支援機構(ISICO)や就農を後押しするいしかわ農業総合支援機構(INATO)などの専門組織によるサポートも充実しています。



## 「Iパス」で費用面もサポート

「いしかわ移住パスポート(Iパス)」は、移住希望者や移住から1年以内の方が申請でき、協賛店舗に提示することで、割引サービスや特典などが受けられます。引っ越しや宿泊、不動産など幅広い分野で移住者を費用面からサポートします。



# 東京から故郷へ戻り、地域の食文化を発信するラボを創業

移住者に聞く  
しんどう ゆうた  
**新道 雄大さん**  
(小松市)

離れたことで見えた  
石川の豊かさ

今年3月、小松市中心部に地域の食文化を発信する「EATLAB（イートラボ）」が誕生しました。

EATLABを立ち上げたのが、東京からUターンした新道雄大さんです。EATLABでは、大きなキッチンシンボルとした共有スペースを設け、食に関わるさまざまな業種の人と交流する場を提供しています。また、そこから生まれたアイデアなども生かしながら石川を中心とした食文化の調査や伝統食のブランド化などに取り組んでいます。新道さんは小松市で生まれ育ち、高校卒業後に長野県の大学に進学。大学院修了後、いったんは小松市に戻りますが、2014年に東京のWeb



小松での生活を楽しむ新道さんご家族

制作会社への就職で故郷を離れました。「地元から距離を置いて生活したことで、発酵食など石川の豊かな食文化に気づくことができました」と新道さん。16年3月に神奈川県生まれの裕樹子さんと結婚後、地域の食文化を守り伝えたいと考え、Uターンを決意しました。

子育て環境の  
違いにびっくり

東京から通ってラボの設立に向けた改修をしたり、ILACに相談したりしながら移住の準備をしていましたが、昨年7月に長女の咲織ちゃんが誕生したことがきっかけで、計画は大きく進展しました。当時は夫婦二人とも独立してフリーランスで活動しており、「大都市部では、同じ境遇の夫婦が認可保育園に預けたくても、園にも余裕がなく、なかなか受け入れてもらえないという話を聞いていました（裕樹子さん）」とのこと。出産を機に奥さまの仕事にめぐりついたタイミングということもあり、昨年夏に小松市へと移り住みました。移住から半年、小松市内の



同じくUターンしてきた地元の友人とリノベーションし、EATLABをスタート

マンションで新たな生活をスタートした新道さんご家族。「間取りは増えたのに家賃は約1/3になりました。それに空気も水も本当においしいです。」と夫婦は口をそろえます。これまではラボの準備に忙しなかながら県内を回る時間はありませんでしたが、日差しも暖かくなってきたことから、咲織ちゃんを連れてこれからは、暖かくなる休日を楽しまにされています。

## 私たちが“いしかわ暮らし”を応援します。

石川県への移住をサポートするのは、ILAC や市町ではありません。多くの方がサポーターとして、“いしかわ暮らし”をバックアップしています。

### ▶ INTERVIEW ◀

#### サポート機関からの声



一般社団法人  
能登定住・交流機構 代表理事

**高峰 博保さん**

仕事や住宅のことなど、  
能登の情報はお任せください

能登定住・交流機構は、移住希望者や能登を舞台にゼミ活動を行う大学と地域を結ぶ架け橋として2013年に設立し、仕事や住宅といった生活情報の提供、短期滞在する体験プランのコーディネートなど、移住希望者へのさまざまなサポートにも力を入れています。設立から6年、これまでに機構でサポートした100人以上の方が実際に能登へと移り住みました。

数多くの移住に携わる中で、地域に生まれる変化も感じています。「若い夫婦が来たから」と久しぶりに祭りでキリコを出したり、移住者が地域活動に積極的に関わってにぎわいが増えたりと、移り住んだ1組の家族が大きな活力になるのです。

移住先を決めるポイントの一つが旅行です。「親切に道を教えてくれた」「宿の対応が丁寧だった」など、旅先での好印象が移住につながるケースが少なくありません。県民の皆さんの温かなおもてなしも、地域ににぎわいを生む移住者増加には欠かせない視点だと思います。

#### 地域からの声



七尾市たかしな地区活性化協議会・  
七尾市地域おこし協力隊隊員

**任田 和真さん**

行事やしきたりなどをまとめた  
『集落の教科書』が完成!

七尾市高階(たかしな)地区は、空き家情報をまとめたり、移住体験ハウスを用意したりと、多彩な取り組みに力を入れ、ここ4年で8組の家族が移住しています。地域おこし協力隊の私のミッションは、“移住の里”としてこの地の魅力をさらに高めていくことです。

かくいう私も東京から高階地区に移り住んだ移住者の一人で、実際に暮らす中で住民の皆さんの元気やつながりの強さを実感しています。今はとても充実した暮らしを送っていますが、だからと言って、慣れない土地での生活にとまどいが全くなかったわけではありません。

そんな経験を生かし、この3月に完成させたのが、『集落の教科書』です。集落ごとに、地域行事や町会費、ごみの出し方などの細かな情報をまとめています。いいところ自慢ばかりでは、移住後にミスマッチが生じるかもしれません。不便な面もしっかりと伝え、地域も移り住んだ人も気持ちよく生活できる環境をつくっていきたくと考えています。

#### 子育ての現場からの声



認定NPO法人おやこの広場あさがお(白山市)  
理事・事務局長

**川上 由枝さん**

行政と地域、両輪のサポートで  
子育ての不安解消へ

子育て中は誰でも、大なり小なり悩みを抱えています。慣れない土地で、近くに頼れる人も少ない移住者の場合、なおさら不安な気持ちは大きいかもかもしれません。おやこの広場あさがおは、小さな子を持つ家族が気軽に立ち寄り、仲間づくりをしたり、交流したりする地域の子育て広場で、私たちスタッフは移住してきた親子をきめ細かくサポートしていきたくと考えています。

例えば、その一環として力を入れるのが、「ホームスタート」事業です。これは研修を受けた地域の子育て経験者による家庭訪問型の支援で、先輩ママがボランティアで友人のように寄り添い、子育て中の家族を温かくサポートします。

このほかにも、一時預かりや、子が生まれる前のプレパパ・プレママ向けの支援、県外出身ママの集い、子ども食堂など、さまざまな事業を展開しています。行政と地域、2つのサポートを両輪に、移住者の皆さんに安心してもらえる子育て環境の充実に取り組んでいきたくと考えています。

#### 企業からの声



(株)曾田製作所(小松市)  
代表取締役

**曾田 忠寛さん**

県やILACのサポートを受け  
現場の即戦力を採用

建設機械部品の製造を担う当社では今年1月、愛知県からのUターンで、自動車関連企業に勤める40代男性社員が入社しました。採用に関してはILACに相談し、人材コーディネーターの方が当社の要望をもとに移住希望者とのマッチングをしていただきました。さらに、企業の成長をけん引する人材の確保を支援する県の補助事業も活用し、移住者の雇用経費の助成も受けています。

入社から2カ月、移り住んだ社員は長年の経験を生かし、より効率的な生産体制の構築に向けて中心的な役割を担っています。性格的にも非常に前向きで、社内の雰囲気も明るくなっているように感じます。とはいえ、小さなお子さんもおられ、奥さんも新しい町でまだまだ不安を感じていると思います。生活面でもさまざまなサポートをしていきたいですね。加えて、家族で石川暮らしをぜひ楽しんでもらえるよう、働き方改革にも取り組みたいと考えています。

# what's ライチョウ

日本のライチョウは氷河期に大陸から分布を広げ、高山帯にすむようになり、ライチョウの種類の中で世界で最南端に生息しています。春から秋には白・黒・茶のまだら模様、冬季にはほぼ真っ白と、羽の色が大きく変わります。1980年代に約3000羽いると推定されていましたが、2000年代には約1700羽にまで減少。現在は、北アルプスや南アルプスなどの一部で生息が確認されています。



順調に成長する  
ライチョウ(生後2カ月)

## REPORT

### いしかわ動物園

# 希少な生き物 を守ろう!



日本の高山  
を象徴する  
ライチョウ



いしかわ動物園  
で誕生したヒナ

# what's トキ

美しい色の羽を広げるトキ

「*Nipponia nippon* (ニッポニア・ニッポン)」の学名が付けられているように、トキは日本を象徴する鳥です。かつては全国に生息していましたが、里山の荒廃などを背景に数が激減。1981(昭和56)年に野生のトキは絶滅しました。石川では、70(昭和45)年に穴水町で捕獲された「能里」が本州最後の1羽となりました。体は全体的に白っぽく、羽はトキ色とも言われるきれいな薄いピンク色をしています。



野生復帰を果たしたトキは石川県にも  
やって来ています

絶滅の恐れのある、希少な動物を守り、育てていく……。いしかわ動物園では、国の特別天然記念物で石川県にもゆかりの深いトキとライチョウを未来につなげていくため、「種の保全」の取り組みを積極的に進めています。

平成30年度動物園  
フォトコンテスト  
キ里山館賞受賞作品「アモーレ」(庄  
田憲二さん)

**3月、一般公開スタート  
繁殖にもチャレンジ**  
日本では高山帯だけに生息するライチョウは、山岳信仰と結びつき、古くから「神の鳥」と呼ばれています。石川県内ではかつて白山に生息していましたが、昭和初期に絶滅したと考えられていました。2009年に約70年ぶりに1羽が発見されましたが、16年を最後にその姿は確認されていません。  
いしかわ動物園では、2010年から近縁のスパールバラライチョウの飼育・繁殖に取り組み、17年度からはライチョウの飼育に着手。現在は、富山市ファミリーパークから受け入れた受精卵から誕生した3羽の雄が順調に成長するなど、こうした取り組みが国から高い評価を受けています。  
そして、いしかわ動物園を含む全国5施設で、3月15日からライチョウの公開展示が一齐にスタートしました。さらに、同園では成鳥の雄・雌を受け入れ、2019年度からはライチョウの繁殖にも取り組みます。

**分散飼育開始から10年目  
42羽の野生復帰に貢献**  
2010年1月、佐渡トキ保護センターからつがい2組を受け入れ、いしかわ動物園でトキの分散飼育が始まりました。分散飼育は、鳥インフルエンザなどの感染症により一度に全滅する危険を避けるための取り組みです。現在までに、同園では63羽のヒナを育てることに成功し、60羽を佐渡に移送、うち42羽が佐渡で放鳥されています。  
同園では、2004年から近縁種で積み重ねた技術を生かし、トキの繁殖に貢献しています。16年11月には、保護の重要性やトキを育む環境づくりの大切さを知ってもらうため、佐渡以外で初となるトキの公開展示施設「トキ里山館」をオープンしました。  
石川県は、トキの本州最後の生息地であり、昭和初期までは能登を中心とした姿が日常的に見られました。再び石川の空をトキが羽ばたく日がくるように、県では、同園での飼育・繁殖はもちろんだ、トキを育む環境づくりにも全力を傾けていきます。



## 本物のトキ・ライチョウが伝える メッセージを受け取ってください

絶えそうな命を守り、未来につなぐ—。これは、動物園が決して忘れてはならない使命の一つです。その一環として、いしかわ動物園では、分散飼育地としてトキの飼育・繁殖に力を注いできました。今年1月、絶滅の恐れがある生物をまとめた環境省のレッドリストで、トキが「野生絶滅」から「絶滅危惧ⅠA類」に見直され、絶滅の危機から一步遠のいたことは、私たちにとっても、大変うれしいニュースでした。

公開展示が始まったライチョウに関しても、このままでは絶滅してしまうかもしれないという強い危機感を全国の関

係機関で共有し、保護活動に取り組んでいます。いしかわ動物園もその一員として、全力で飼育・繁殖に努めていきたいと考えています。

皆さんも、石川に縁の深いトキとライチョウの姿を、いしかわ動物園でぜひご覧ください。そして、本物こそが伝えられるメッセージに耳を傾けていただければうれしいですね。里山の荒廃や地球温暖化など、人の手ですみかを失いつつあるトキやライチョウが再び、元気に過ごすことができる豊かなふるさととなるよう、皆さんとともに考えていきたいと思っています。



いしかわ動物園 種の保全グループリーダー・獣医師 **堂前 弘志**さん

# トキ&ライチョウに会いに行こう

トキとライチョウを1カ所で見られるのは、全国でもいしかわ動物園だけ。工夫を凝らした展示で、その生態を楽しく学ぶことができます。



里山を再現した傾斜のある施設です

### トキ里山館

トキ里山館は、能登の棚田をイメージした傾斜のある展示施設。大きなガラス窓や間近に見ることができると、観察ポイントがいくつもあり、湿地で好物のドジョウをついばんだり、木に止まって羽を休めていたりするなど、トキの

棚田を模した館内でさまざまな姿を観察



学習展示コーナーは楽しく学べます

さまざまな姿をじっくりと観察できます。また、学習展示コーナーでは、石川県とトキの関係をはじめとく年表やクイズコーナー、実物大の卵の模型などに触れられるコーナーなど、トキに関する多彩な知識を楽しく学ぶことができます。



5月の愛鳥週間に実施

## ツバメのふるさとの総調査

県内では、毎年5月10〜16日の愛鳥週間を中心に、全公立小学校の児童が調査員となって「ふるさとのツバメ総調査」を実施しています。

### ふるさとの

#### ツバメ総調査を実施しました!

山代小学校では、6年生が調査員となり、校区内のツバメ総調査を行い、その結果やツバメについて調べたことをポスターなどにまとめています。調査を通して、ツバメが私たちの暮らしに身近な鳥であり、人によってその見方はいろいろあることが分かりました。ツバメが好きな人が増えるよう、受け入れる工夫が大切だと思いました。

加賀市立山代小学校 6年  
山本 匠さん、坂下 春さん

1972年にスタートし、今も県内全域を調査しているのは全国で石川県だけです。成鳥や巣の数、設置場所などを調べ、地域の方にツバメへの思いや守る工夫などの聞き取りも行っていきます。

調査で年々ツバメの数が少なくなっていることが分かっています。人とツバメが共生できるふるさとを守るため、5月31日まで「ツバメWelcomeキャンペーン」を展開しています。



身近な環境への興味を高めるきっかけになっています

### 白山の高山帯を再現 愛らしい姿に思わず笑顔

2011年にオープンしたライチョウの峰は白山の高山帯を再現した展示施設で、開放感のあるガラスドームの両側に、ライチョウとスバルバルライチョウを見ることが出来ます。真夏でも涼しく保たれた館内を歩

く羽の色から季節の移ろいを感じることが出来ます。愛らしい姿に自然と頬が緩んでしまうかもしれませんよ。

### ライチョウの峰



間近にライチョウが見られます

いしかわ動物園 能美市徳山町600番地 TEL.0761 (51) 8500

開園時間/9:00~17:00 (11/1~3/31は16:30まで) ※入園は開園の30分前まで  
休園日/火曜(祝日の場合は翌平日休)、年末年始(12/29~1/1) ※春・夏休み中は無休  
入園料/一般830円、3歳以上中学生以下410円 ※3歳未満無料

# 風と緑の楽都音楽祭2019

Spring Green Music Festival

開催期間：4/28日 → 5/5日

本公演 **5/3** (金) **5/5** (日)

- 石川県立音楽堂
- 金沢市アートホール
- 北国新聞赤羽ホール
- 加賀・能登地区の文化施設 ほか

期間中は、国内外から集まった  
トッスアーティストたちの  
コンサートや伝統芸能とのコラボ、  
県民参加型のコンサートなど、  
約170公演も開催される  
石川ならではの  
クラシック音楽の祭典ガル！

音楽祭イメージキャラクター  
**ガルガンチュア**

## おすすめ公演

県立音楽堂コンサートホール

5/5日(祝) / 10:00~10:50

北欧を代表するオケで聴く、  
名指揮者シェーファー厳選の北欧名曲集！

出演 ● ヘンリク・シェーファー (指揮)、エーテボリ歌劇場管弦楽団ほか

演奏曲 ● ニールセン：「仮面舞踏会」序曲、ステーンハンマル：フローレスとプランセフロール、シペリウス：「フィンランディア」ほか

料金 ● S:2500円、A:2000円



エーテボリ歌劇場管弦楽団

県立音楽堂邦楽ホール

5/4日(土) / 14:00~14:50

能の名手と気鋭のダンサー、  
クラシックによる迫力の公演！

出演 ● 渡邊荀之助(能舞)、中村香耶(ダンス)、水上由美(バイオリン)、福野桂子(チェロ)、木米真理恵(ピアノ)、江野泉(笛)、中村豊(演出)

演奏曲 ● ムソルグスキー：「展覧会の絵」  
料金 ● 2000円



渡邊荀之助

県立音楽堂コンサートホール

5/5日(祝) / 19:15~20:05

オーディションで選ばれたピアニストと  
OEKが共演する必聴のプログラム！

出演 ● ユベール・スターン(指揮)、平野加奈(ピアノ)、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK) 祝祭管弦楽団

演奏曲 ● グリーグ：ピアノ協奏曲、ハチャトゥリャン：組曲「仮面舞踏会」  
料金 ● S:2500円、A:2000円



ユベール・スターン

音楽祭チケットカウンター

好評発売中

TEL. 076(232)8118 [10:00~18:00] / 窓口販売 [10:00~19:00]

金沢市昭和町20-1 (県立音楽堂内)

[www.gargan.jp/](http://www.gargan.jp/)

※チケットは、チケットぴあ、ローソンチケット、セブンチケットでも取り扱っています。  
※6歳から入場可。子ども割引(小学生以下500円引き)。  
※都合により出演者・曲目等に変更が生じる場合があります。

## 春待つ北ヨーロッパからの息吹 北欧とロシアの音楽

グリーグ、シペリウス、チャイコフスキー、シヨパン

一流が奏でる音楽で  
新時代の幕開けを

平成から新たな時代の幕開けを告げる今年のゴールデンウィークは、北ヨーロッパからの息吹を届けるトップアーティストの演奏に耳を傾けてみてはい

かがでしょう。石川生まれのクラシックの祭典「いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭」が今年も開催され、県立音楽堂を中心に、県内各地や富山、福井の会場で公演が行われます。3回目となる今回、スポットを当てるのが、北欧とロシア

の音楽です。グリーグ(ノルウェー)やシペリウス(フィンランド)、チャイコフスキー(ロシア)など、北欧・ロシアの作曲家が手がけた名曲の数々で、訪れた皆さんを魅了します。もちろん、国内外から集まるアーティストも超豪華。伝統芸能とのコラボや県民参加型コンサートなどもあり、クラシック音楽の愛好者も、そうでない方も、年配の方も、お子さんも、みんなが楽しめる音楽祭となっています。



## 行きたかった、あの日本へ。 住んで良かった、この石川県で。

は、開業前年の52本から何と一挙6倍の313本に。4年目となる昨年はこれまでで最多の360本を記録しています。おかげで、それまで遠くまで行きたらそうだった石川県のイメージが一変。さらに、計算上、毎日どこかのテレビ局で必ず本県の魅力が放送されています。I-LACを訪れる相談者と移住者の急増は、わが石川の印象が強まったことと無縁ではありません。

新年度から大学などへ進学する本県の学生を対象に、電子マネーカード「ふるさと石川就職学生カード」(Sica・イシカ)をスタートさせます。首都圏などで働く地元企業の就職イベントに参加すると買い物に使えるポイントがたまる仕組みで、皆さんに将来性に富んだ企業を広く知ってもらい、ふるさとで就職する学生をもっと増やしたいのです。

石川県は、住環境、育児・教育など暮らしやすさの指標が全国トップクラス。「住んで良かった、この石川県で。」へ、さらに知恵をほしいと力をこめています。

北陸新幹線金沢開業から4年がたちました。今も多くの観光客が石川県にお越しになっていますが、「移住者も開業効果で急増中」ということを存じでしたか。開業前年の2014年、県や市町の支援により他県から引っ越した人は347人。それが、17年は何と1020人と3倍になっています。

特集で紹介した移住・定住サポートの拠点となるI-LACを3年前に開設し、東京、大阪にも相談窓口を設けました。きめ細かな情報提供と移住の不安解消に努めてきたことが、この成果に結びついていると感じます。しかし、それだけではこの数字にならないでしょう。

JR東日本は新幹線開業にあたり、「行きたかった、あの日本へ。」のキャッチコピーで、古き良き日本が残る北陸を発信しました。伝統文化が生活に根つき、情緒あるまち並みや豊かな自然と食の魅力アピールしたのです。

全国放送のテレビ番組でも本県が頻りに登場しました。取り上げられた本数は、開業前年の52本から何と一挙6倍の313本に。4年目となる昨年はこれまでで最多の360本を記録しています。

smile 石川のボランティア

### ほほえみ

田鶴浜地区  
生活・介護支援  
サポーター会  
(七尾市)



参加者みんなで健康体操を実施。  
楽しい雰囲気が田鶴浜カフェの魅力です

七尾市田鶴浜地区には、地域住民に人気の「カフェ」があります。それが田鶴浜地区生活・介護支援サポーター会が主催する「田鶴浜カフェ」です。認知症を患う方や家族が情報交換や相談を行う「認知症予防カフェ」として、町内3つの施設を会場にそれぞれ月1回ずつ、水曜限定で開催しています。

とはいえ、田鶴浜カフェに参加するのは認知症に関わる人だけではありません。だれでも気軽に参加でき、毎回50人近くの方が集まり、お菓子を食



田鶴浜高校の生徒と力を合わせ、カフェを運営

●問い合わせ  
田鶴浜地区生活・介護支援サポーター会  
TEL. 0767 (68) 3336 会長:上島藤男  
(七尾市田鶴浜地区コミュニティセンター)

べながら談笑したり、さまざまな体験教室やゲームをしたりと、楽しい時間を過ごしています。

加えて、看護や介護について学ぶ田鶴浜高校の生徒が活動をサポートするのも特色の一つ。参加者とお話したり、健康体操をしたりするなど、カフェの運営で大活躍しています。「高校生からお年寄りまで幅広い年齢層の方が集まり、いつも笑い声がたえません」と話すのは会長の上島藤男さん。認知症について理解を深めると同時に、笑顔広がる地域住民の憩いの場となっています。

## 住民の笑顔あふれる 認知症予防カフェ開催 田鶴浜高校の生徒も参加

県内のボランティアに関する情報は

石川県社会福祉協議会ボランティアネット

検索



海産物や能登牛など  
多くのごちそうが楽しめます



いしかわ食のてんこもりナビ 検索

日本海の荒波がつくる自然の造  
形美・能登金剛や桜貝が打ち寄せ  
る増穂浦海岸など、美しい景観が  
広がる志賀町。そんな海と山に  
囲まれた里浜の美味しい食材が

ぎゅっと詰まったのが、「西能登お  
もてなし井」です。  
西能登おもてなし井は5年前に  
スタートしたご当地グルメで、現  
在は飲食店やホテル、道の駅など

FILE.08

海と山に囲まれた里浜のごちそう

# 西能登おもてなし井



町内20店舗で42品目を提供してい  
ます。一番の魅力は、ふんだんに  
盛り込んだふるさとの幸。町産や  
能登産の新鮮で魅力的な地元食材  
がめじろ押しです。

加えて、和食・洋食・中華と店  
ごとに個性があふれ、気軽に食べ  
られるものからちよつとしたぜい  
たくなものまで価格帯もさまざま。  
中には、井の枠を越えたご膳やラ  
ンチコースとなったものもありま  
す。

もちろん、井の名前に付けた「お  
もてなし」も、忘れてはならない  
魅力の一つです。志賀町を訪れ、  
町の人たちとの温かなふれあいも  
ぜひ、ご堪能ください。

## 西能登おもてなし井

NISHI-NOTO-OMOTENASHI-DON

【食べられる場所】  
志賀町内の20店舗

【定義】

- 1 志賀町産の食材を1/3以上使用。
- 2 能登の食材を1/3以上使用。
- 3 「おもてなし」の心を盛り込む。

各店自慢の味を  
ぜひお楽しみください



志賀町観光協会  
会長  
徳野 外茂男 さん

## ご当地グルメとセットでいかが!?

能登金剛遊覧船

海からも絶景を楽しもう!



能登金剛の名所を回ります

志賀町の海岸線に続く能登金剛は、日本最古の木造灯台の  
ある福浦港や、切り立ったヤセの断崖など観光スポットがいろ  
いろ。そのほぼ中間に位置する巖門では、3月中旬から11月中  
旬の期間中、遊覧船を運航しています。海から眺める能登金剛  
はまた違った魅力があり、運転士さんの軽妙なトークも魅力で  
す。約20分間のゆったりとした海上散歩をお楽しみください。

能登金剛遊覧船

志賀町福浦港ミ-20  
TEL.0767(48)1233  
料金/大人1100円、小人550円  
営業時間/8:00~16:00

3月15日  
配信スタート!



スポーツがさらに  
楽しくなるアプリ

## いしかわ スポーツマイレージ

ISHIKAWA SPORT MILEAGE



Google Play  
で手に入れよう



App Store  
からダウンロード

〓 いますぐダウンロード! 〓

スポーツを  
してみても  
景色をゲット!!

東京オリンピック・パラリンピックの開  
催まであと1年、県ではスポーツを「する」  
「みる」「ささえる」の3つの活動をポイン  
ト化するスマートフォン専用アプリを開  
発しました。それが、3月15日に配信をス  
タートしたばかりの「いしかわスポーツマ  
イレージ」です。

このアプリでは、さまざまなスポーツ活  
動を通してポイントをためることができま  
す。例えば、ウォーキングやランニングをす  
ると歩数に応じてポイントを付与。ほかに

“ スポーツ × する = (P)  
スポーツ × みる = (P)  
スポーツ × ささえる = (P) ”

例えば

- 100歩で1ポイント(上限100ポイント/日)
- 1回の観戦で100ポイント
- 1回のボランティア参加で100ポイント

たまったポイントで  
抽選に応募



ふるさとの特産品を  
プレゼント



● 問い合わせ  
県スポーツ振興課  
TEL.076(225)1392

※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。  
※ Apple, Appleのロゴ、iPhone、iPadは、米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。  
App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

小松空港から約4時間半

# 「小松-香港」週2便で運航スタート!



2019年4月3日、小松空港の新たな国際定期便となる小松・香港便が就航します。東洋と西洋の文化が混じり合うエネルギッシュな世界都市・香港には、中華をはじめとした世界中の料理が堪能できるグルメ、多くの人を魅了する100万ドルの夜景など、おすすめスポットがめじろ押し。少し足を延ばせば、異国情緒あふれる街・マカオ観光も楽しめます。小松空港から約4時間半、身近になった香港を訪れてみてはいかがでしょうか。

▼ 水・土曜 (4/3~10/26の季節運航)

小松発 → 香港着	
出発 16:30	到着 20:00
香港発 → 小松着	
出発 9:45	到着 14:55

※時間は現地時間で表記しています。



● 問い合わせ ..... 小松空港協議会 (県空港企画課内) 金沢市鞍月1-1 TEL.076 (225) 1337

## 私にとっての豊かな老後とは、 子どもに迷惑かけずに生きることです。



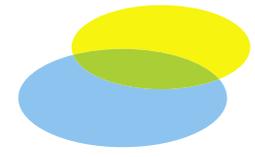
# 人生を、満開に。

- ゆとりの「一般居室」と安心の「介護居室」
- 24時間の介護・看護体制。\*3
- 終身介護をお約束。\*4 介護居室への住み替え費用も不要。
- 経験豊富なスタッフ&充実した共用施設。

\*1 天然温泉：(泉質)ナトリウム、カルシウム塩化物強塩泉 (効能)神経痛、関節痛、冷え性、慢性婦人病 等当ホームの天然温泉は、水温が高いので井戸水を加水しています。\*2 写真は実際のお料理の一例です。\*3 夜間時(17:30~翌8:30)は看護職員1名・介護職員2名(最少人員各1名ずつ)の配置となります。\*4 入居者の行動が、他の入居者又は、従業員の生命に危害を及ぼし、又は、その危害の切迫した恐れがあり、かつホームにおける通常の介護方法及び接遇ではこれを防止することができないときは、契約解除となる場合がございます。

事業主体/スプリングライフ金沢 株式会社 ※当社は三谷商事グループの100%出資による会社です。  
石川県金沢市栗崎町4丁目80番地2 Tel.076-238-8000 Fax.076-237-2323 http://springlife.jp/  
(公社)全国有料老人ホーム協会 正会員 金沢市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)/金沢市指定第1770100012

広告



## リオリティ・シニアマンション スプリングライフ金沢

三谷商事グループの介護付有料老人ホーム

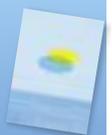


- 「天然温泉」\*1 朝昼晩、メニューを選べるお食事をご予約不要で毎日ご用意。\*2
- 掛け流しの大浴場と露天風呂。
- 24時間体制での終身介護を実施。\*3

資料請求・ご見学・体験入居のお問い合わせは

# 0120-132-871

スプリングライフ金沢 検索 パンフレットをお送りします▶



前略 石川県知事

県政に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580 (住所の記入不要)  
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて  
TEL. 076 (225) 1362 FAX. 076 (225) 1363

県広報広聴室  
公式SNS  
「ほっと石川」

ぜひフォロー  
してください。

Twitter Instagram